

# 前期基本計画の構成（案） <2020. 8. 12>

※第2回幹事会までの議論を踏まえた現時点でのイメージです。

※個々の内容・表現は、今後、幹事会や庁内の検討を基に修正します。

資料3

## 地域経済

歴史・風土と新たな強みを生かした活力あるまち

### 林業



### 10年後（2030年）の目指す姿

- ✓後継者の育成や担い手の確保、次世代技術の導入による持続的な林業の確立されている。
- ✓間伐の推進や森林の境界確認などにより、森林が適正に管理され、水源涵養機能や防災機能など多面的機能が発揮されている。

### 現状と課題

#### 現状

- ✓木質バイオマス発電所の安定稼働により、主燃料となる間伐材の出口確保による森林施策が促進されている。
- ✓林業従事者の高齢化により後継者が不足している。
- ✓森林の境界が不明確で、適正な維持管理が行われていない荒れた森林がみられる。

図表等

#### 課題

- ✓林業従事者の確保と育成
- ✓造林コストのさらなる低減
- ✓山林所有者の所得向上のための取り組み
- ✓森林環境譲与税を活用した、新たな森林経営管理制度による適正な森林管理や森林境界の明確化
- ✓鳥獣害対策
- ✓マイタケなど特用林産物の増産、販路拡大のための体制整備

## 今後5年間の施策の内容

### 1. 林業の担い手の確保と育成

- ①若者に林業の魅力を感じてもらい取り組みを通じた後継者の確保
- ②林業従事者の育成支援

### 2. 山林の適切な管理

- ①森林環境譲与税の活用や、ドローン等の先進技術の活用による山林のデータ化、境界の明確化を通じた山林荒廃の未然防止
- ②シカの食害やクマ剥ぎなど鳥獣害への対策
- ③木質バイオマス発電など間伐材の活用促進を通じた山林の適正管理
- ④森林の適切な管理を通じた体験学習や環境教育など身近なふれあいの場としての活用

### 3. 生産能力の向上と販路拡大

- ①高性能林業機械の導入支援や林道の適正管理などによる、木材の生産能力の向上と販路拡大
- ②マイタケ、オウレンなど特用林産物の生産振興と販路拡大

## 成果指標

指標	内容	現状値	目標値
〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇
〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇
〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇

## 関連する個別計画

- ✓大野市森林整備計画
- ✓大野市鳥獣被害防止計画
- ✓大野市特定間伐等促進計画